

平成30年度 桐生商工会議所
「経営発達支援事業」評価報告書

令和元年5月

桐生商工会議所経営発達支援事業
外部評価委員

目 次

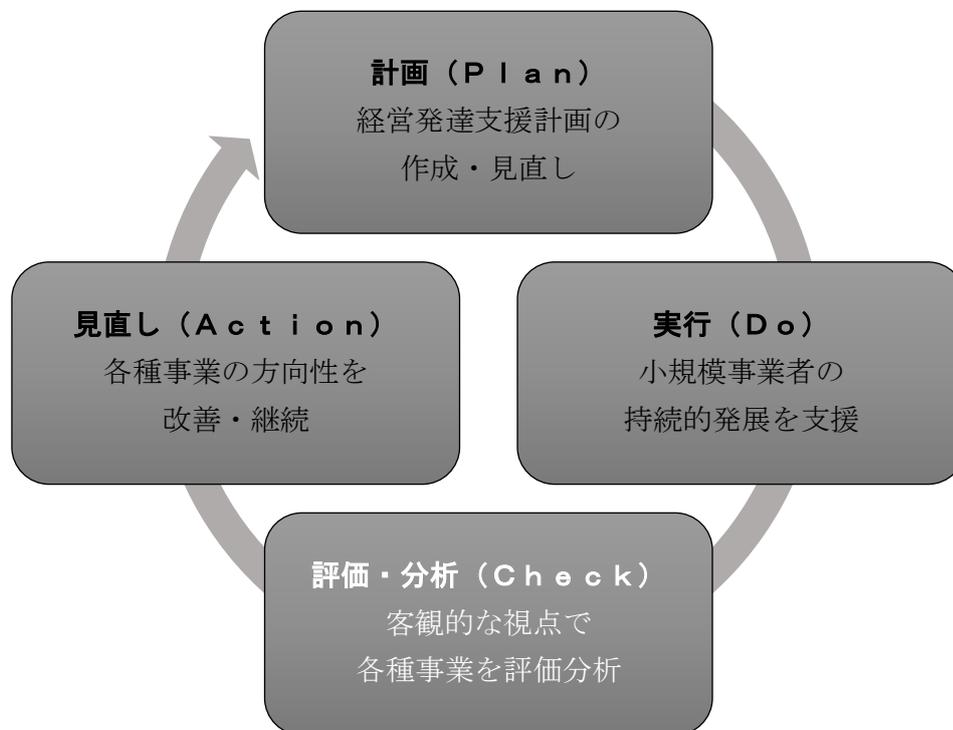
1	外部評価の目的	2
2	外部評価の流れ	3
3	外部評価員名簿	4
4	会議開催経過	4
5	評価視点と評価方法	5
	（1）評価視点	5
	（2）評価方法	6
6	外部評価結果	6
7	全体的な総括	15

1 外部評価の目的

桐生商工会議所では、平成27年7月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受け、5年計画で小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

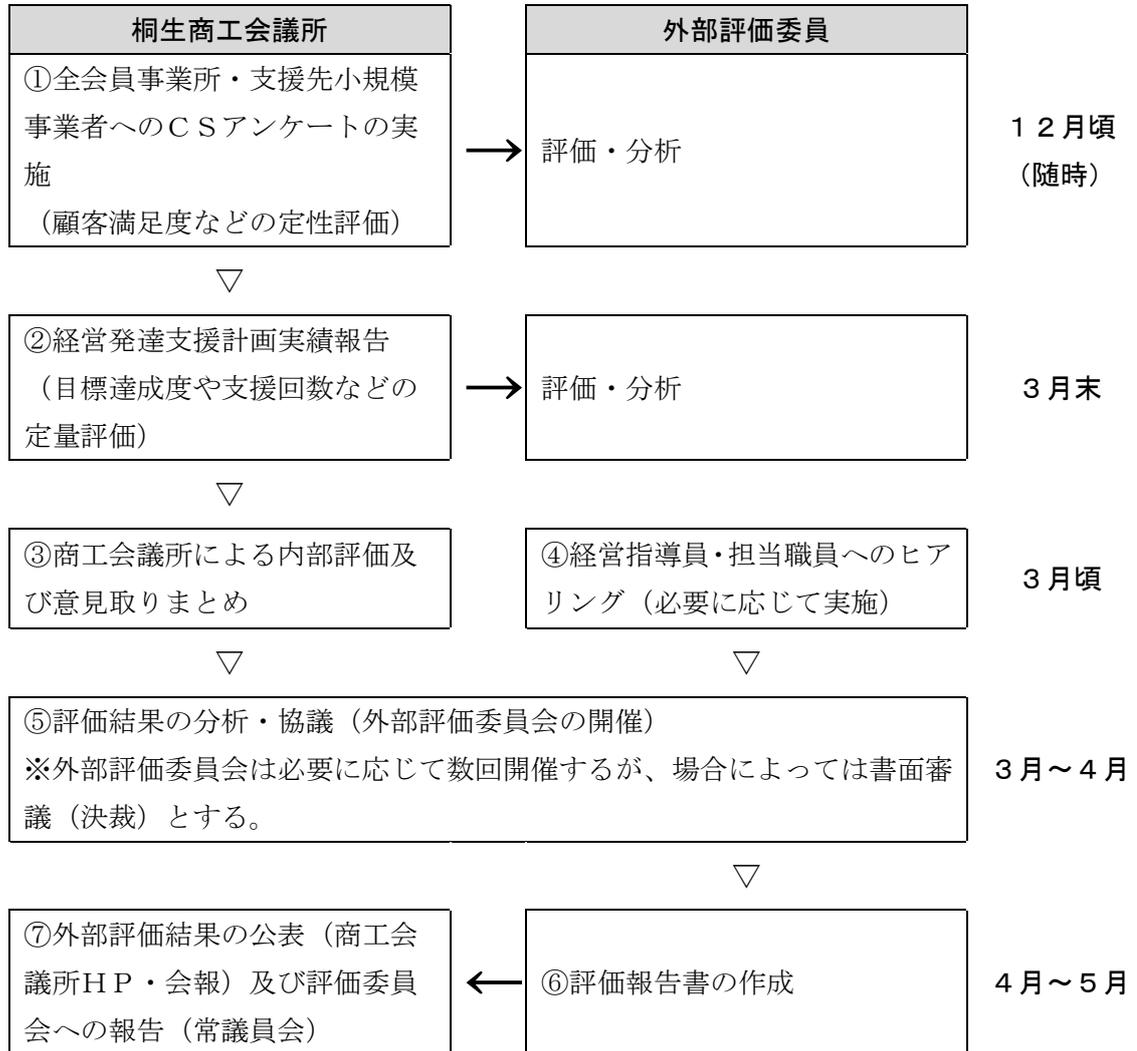
この外部評価は、経営発達支援事業を効果的に継続していくため、客観的な視点で各種事業を評価分析し、適切なPDCAサイクルを構築することを目的として行うものである。

外部評価委員は、支援実績と会員CSアンケート結果等に基づき、目標達成状況及び事業内容に対する評価分析を行い、経営発達支援事業評価報告書を作成、必要に応じて支援計画内容の見直しについて提言を行うものとする。



2 外部評価の流れ

外部評価は、以下のとおり実施する。



3 外部評価委員名簿

外部評価委員は、以下のとおり構成する。

任期は、平成27年12月1日から令和2年3月31日まで。

平成30年度委員

(敬称略)

氏名	所属	役職
石井 邦明	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
吉田 功幸	群馬県産業経済部	産業政策課長
齋藤 保史	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長
森田 勝	桐生市産業経済部	産業政策課長

令和元年度委員 ※平成31年4月の人事異動により変更

(敬称略)

氏名	所属	役職
権藤 哲郎	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
吉田 功幸	群馬県産業経済部	産業政策課長
奈良 敬一	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長
関口 宏	桐生市産業経済部	産業政策課長

4 会議開催経過

会議の開催経過は、以下のとおりだった。

名称	日時・場所	内容
第6回 外部評価 委員会	平成30年11月26日(月) 午前11時~正午 桐生商工会議所501会議室	・当所の支援力向上に向けた取り組み ・経営発達支援事業の進捗状況について ・経営支援事業アンケートについて

第7回 外部評価 委員会	令和元年5月16日(木) 午後2時~3時 桐生商工会議所桜の間	・桐生商工会議所経営支援事業アンケート 桐生商工会議所会員事業所アンケート 集計結果について ・経営発達支援事業の外部評価について
--------------------	---------------------------------------	--

5 評価視点と評価方法

(1) 評価視点

チェック項目	評価の視点
必要性	小規模事業者を支援するために必要不可欠な事業であるか
	商工会議所が主体となって実施すべき事業であるか
	商工会議所内部の管理運営上必要な事業であるか
有効性	事業の成果は上がっているか
	目標に対する達成度は十分であるか
	地域経済の活性化に貢献しているか
	小規模事業者の課題解決に貢献しているか
	商工会議所内部の管理運営上の課題解決に貢献しているか
効率性	効率性向上に努めているか
	成果を落とさずにコストの削減や業務負担を縮小する方法はあるか

チェック項目と評価の判断基準は以下のとおりである。

必要性、有効性、効率性の各項目に対する評価の基準として、下図を参考に外部評価を行う。商工会議所の内部意見を踏まえ、総合的な外部評価とする。

	必要性・有効性が低い		必要性・有効性が高い	
効率性が低い	統合 ・ 終了	根本的見直し (縮小)	簡易な改善 (縮小)	
効率性が高い			簡易な改善 (拡大)	根本的見直し (拡大)

(2) 評価方法

外部評価は、各事業の「数値目標・実績」に記入されている情報と「経営発達支援計画実施状況調査回答票」及び「桐生商工会議所満足度調査アンケート」の集計結果を参考に
して行った。これらの資料から読み取れない部分は、担当者へのヒアリングにより補った。

資料及びヒアリング結果を踏まえ、各事業について、商工会議所の内部意見に対する今後の方向性を以下の判定基準に沿って評価した。

評価項目		判定基準
計画どおり継続		現状の水準で、計画どおり事業を継続することが適当である
簡易な改善	縮小	目標達成に向けて比較的簡易な改善（事業縮小）すべき点がある
	拡大	目標達成に向けて比較的簡易な改善（事業拡大）すべき点がある
根本的見直し	縮小	事業の目的や趣旨から事業縮小を根本的に見直す必要がある
	拡大	事業の目的や趣旨から事業拡大を根本的に見直す必要がある
統合・終了		これまでの事業実績や成果から、他事業との統合や事業終了を考 えるべきである

6 外部評価結果

各事業の外部評価結果は以下のとおり。

1. 経営発達支援事業の内容

I. 市場動向・支援施策・支援ツール等、経営に役立つ情報の収集・整理

実施内容・内部意見	外部評価・意見
<p>所内の経営支援に関する情報の統一化、提供の迅速化、共有化を図るための「経営支援情報共有データベースシステム」内の情報を管理・運用した。</p> <p>本システムでは、①市場動向情報②専門家情報③展示会・商談会情報④認証制度情報⑤マスコミ・プレス窓口情報⑥経営支援施策情報⑦支援ツール情報⑧マッチング事業者情報⑨バイヤー情報⑩代理出展サイト情報—の10カテゴリーごとに情報を格納・検索できる。</p> <p>30年度の専門家情報は、新規登録が1件あったが、登録解除が1件あったため、29年度と比べて、増減無しの合計60件となっている。</p> <p>今後も、有益な情報収集を継続して行い、データベースに整理していくとともに、問題点や改善点に関するヒアリング調査を行い、課題を抽出し、利便性の向上を図り、登録いただいた専門家との連携を強化するとともに、新入会員を対象に新たな専門家を増やしていきたい。</p> <p>また、所内回覧システムや朝礼等での情報提供を習慣化し、情報の共有に努めた。</p>	<p>計画どおり継続</p> <p>データベースに収納した各種情報の更新・管理を徹底していただきたい。</p> <p>情報の充実化を図るとともにシステムの利便性向上にも努めていただきたい。</p>

II. 小規模事業者の経営状況の調査、分析、整理権利化

取組項目	実施内容・内部意見	30年度 目標	30年度 実績	外部評価・意見
既に保有している紙媒体の事業者情報のデータ化	融資や補助金申請時の所内に蓄積されている小規模事業者の経営情報をデータ化した。	50件	67件	計画どおり継続
ヒアリングによる経営状況の分析及び整理 (知的資産経営レポート作成支援含む)	平成28年7月に施行された中小企業等経営強化法に伴い、ローカルベンチマークなどの経営診断ツールにより、中小企業・小規模事業者の「経営力向上計画(7件)」及び「先端設備等導入計画(24件)」の策定支援に取り組んだ。	15件	31件	計画どおり継続 目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。 全指導員が統一的な支援を行えるよう更なる支援力向上に努めていただきたい。
無形資産の権利化支援	無形資産を権利化(営業秘密管理規定設置、業務提携契約締結等)することで、小規模事業者の防衛体制強化を図る計画だが、実績は無かった。	4件	0件	計画どおり継続 実績は無かったが、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。

III. 経営計画の策定支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度 目標	30年度 実績	外部評価・意見
経営計画策定セミナー開催	①6/11 「事業承継・M&Aセミナー」 渡辺政之氏 100人 ②8/7 「29年度補正小規模事業者持続化補助金採択者向け説明会」 46人 ③9/11 「事業承継・後継者育成ゼミ」 土田正憲氏 19人 ④9/19 「事業承継・後継者育成ゼミ」 土田正	7回	7回	計画どおり継続 必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。 事業者のニーズを把握し、経営課題に即した内容を企画していただきたい。

	憲氏 19人 ⑤10/10 「事業承継・後継者育成ゼミ」土田正憲氏 19人 ⑥10/29 「事業承継セミナー・個別相談会」森和博氏 15人 ⑦3/12 「今日からできる働き方改革実践セミナー」中山一郎 23人			
経営計画策定支援（持続化補助金支援含む）	小規模事業者持続化補助金（52件）、サービス等生産性向上IT導入補助金（11件）、経営力向上計画（7件）、先端設備等導入計画（24件）、地域経済牽引事業計画（1件）、桐生市新規工房開設補助金（2件）、桐生市空き店舗補助金（3件）、経営改善計画（1件）における申請時に経営計画の策定を支援した。	27件	101件	<p style="text-align: center;">計画どおり継続</p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。</p> <p>件数と支援内容が反比例しないように継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>また、全指導員が統一的な支援を行えるよう更なる支援力向上に努めていただきたい。</p>
経営革新計画策定支援（採択数）	税制優遇措置のある経営力向上計画や先端設備等導入計画に申請ニーズがシフトする傾向にあるが、今後も計画に沿って支援していきたい。（製造業1件）	7件	1件	<p style="text-align: center;">簡易な改善（縮小）</p> <p>目標値を下回っているが、事業者のニーズを掘り起し、継続的に取り組んでいただきたい。</p>

IV. 策定した経営計画の実行支援

・販路開拓支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度目標	30年度実績	外部評価・意見
新商品等プレスリリース支援	小規模事業者の新商品・新サービス・新技術等の情報を収集し、当所の広報媒体から随時発信するとともに、マスコミに対して投げ込	8件	27件	<p style="text-align: center;">計画どおり継続</p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。</p>

	<p>みを行うことで、PR支援を行った。</p> <p>また、ビジネスプレス発表会を開催し5社が発表した。</p>			<p>SNS等で手軽に行えるPRからマスメディアへの周知まで幅広いメニューを整備する必要がある。</p> <p>また、マスコミとの連携も強化していただきたい。</p>
HPの事業者紹介ページ掲載	<p>当所会報「桐生商工だより」の連載コーナー「会員事業所からの発信」をHP上にも掲載した（毎月3社程度）。</p>	25件	32件	<p>計画どおり継続</p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。</p>
展示会・即売会等出展（回数）	<p>①8/29-8/31「大日本市」（寺田倉庫 B&C HALL）</p> <p>②9/28-9/30「カートラジャパン 2018」（幕張メッセ）</p> <p>③10/25-3/15「食のショールーム・パルズ」（六本木パルズ）</p> <p>④10/27-10/28「クリーマクラフトキャラバン in 桐生」（有隣館）</p> <p>⑤11/14-11/16「IFFT インテリアライフスタイルリビング」（東京ビッグサイト）</p> <p>⑥11/30-12/9「台湾ニーハオ ウォーハオ」（台北）</p> <p>⑦12/1-12/2「技のヒット甲子園@まるごとにつぼん」（浅草まるごとにつぼん）</p> <p>⑧12/5-12/18「旅する日本市」（中川政七商店 日本橋高島屋店）</p> <p>⑨2/4-2/6「伊勢丹浦和店テストマーケティング」（伊勢丹浦和店）</p> <p>⑩ 2/12-2/15 「feel NIPPON 春 2019」（東京ビッグサイト）</p> <p>⑪2/12-2/15「中小企業</p>	3回	13回	<p>計画どおり継続</p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。</p> <p>必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>費用対効果やターゲット層とのマッチングを考え支援していただきたい。</p>

	総合展 in giftshow」 (東京ビッグサイト) ⑫2/13/2/15「デリカテ ッセン・トレードショ ー」(幕張メッセ) ⑬2/14-2/16「JAPAN プ ラウド」(丸の内 KITTE ビル)			
展示会等出展 (延 べ参加企業数)	上記の展示会・即売 会に参加した企業数。	20件	46件	計画どおり継続 目標値を大きく上回る 実績を上げており評価で きる。 出展効果の確認やアフ ターフォローにも気を配 るよう意識していただき たい。
バイヤー等取引斡 旋 (成約数)	上記の展示会・即売 会等においてバイヤー との取引斡旋があり成 約した数※単なる物販 は除く(44件)。 バイヤーと個別斡旋 し成約した数※地域外 業者紹介依頼含む(1 1件)。 市内事業者間で業者紹 介し成約した数(8 件)。	18件	63件	計画どおり継続 継続的に取り組んでい ただきたい。 一部の参加企業に偏る ことなく、新規事業所も 取り込めるよう支援して いただきたい。 成約後の状況について も継続的に確認してい ただきたい。
販路開拓セミナー 開催	①8/27 「海外展開支 援セミナー」 中山裕 介氏・白子直樹氏 100 人 ②9/14 「行動が早い 人になるための段取り 術」 長谷川孝幸氏 28人 ③10/18「今から備え たい 軽減税率の対策と ポイント」 加藤敦子 氏 20人 ④2/6 「中小企業支援 制度説明会」 下山泰 史氏 130人 ⑤3/14 「プレスリリ ース作成セミナー」	5回	5回	計画どおり継続 継続的に取り組んでい ただきたい。 参加者へのアンケート 調査等も行い、より必要 性・有効性の高いセミナ ーを企画していただき たい。

	塚本直樹氏 30人			
小規模事業者持続化補助金申請支援 (採択数)	小規模事業者持続化補助金の採択数。 【29年度補正公募分】 51件申請46件採択 (採択率90.2%)	28件	46件	計画どおり継続 目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。 より効率性を高められるよう、継続的に取り組んでいただきたい。

・資金調達支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度 目標	30年度 実績	外部評価・意見
マル経資金・中小企業経営力強化資金による資金調達支援	マル経資金融資を経営計画実行のための「攻め」の手段として積極的に活用し、経営発達に向けた資金調達支援を行った。 また、策定した経営計画を日本政策金融公庫と共有し、中小企業経営力強化資金の優遇利率制度により資金調達支援を行った。	22件	14件	計画どおり継続 小規模事業者の実態に合った支援を心がけ、継続的に取り組んでいただきたい。
ものづくり補助金等申請支援による資金調達支援（持続化補助金除く）	ものづくり・商業・サービス革新補助金の申請数。 11件申請7件採択 (採択率63.6%)	8件	11件	計画どおり継続 継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。

・現場改善支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度 目標	30年度 実績	外部評価・意見
改善・5S支援	現場改善の専門家と連携して経営計画実行に必要な業務効率化や5S活動推進について	8件	6件	計画どおり継続 目標値を下回っている

	の実践的な支援を行った。(製造業：5件、飲食業：1件)			が、必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。 専門家相談等も有効に活用し、支援件数を増やせるよう努めていただきたい。
省エネ化支援	桐生市の「小規模企業者省エネルギー設備導入補助金」申請支援を含め、省エネ化の専門家と連携して経営計画実行に必要な省エネ化・経費削減支援を行った。(製造業：4件、小売・サービス業：2件、卸売業：1件、建設業：1件、繊維工業：1件)	8件	9件	計画どおり継続 継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。

・開発支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度目標	30年度実績	外部評価・意見
技術開発支援	北関東産官学研究会、群馬産業技術センター、群馬県繊維工業試験場、群馬大学等の研究機関や技術開発の専門家と連携して経営計画実行に必要な技術的課題解決支援を行った。(製造業：2件、創業者1件)	4件	3件	計画どおり継続 継続的に取り組んでいただきたい。 効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。
デザイン開発支援	デザイン開発の専門家や当所に専門家登録いただいたデザイナーと連携して小規模事業者とのマッチングを行い、商品・パッケージ・ロゴ・HP・店舗などのデザイン性向上の支援を行った。(製造業：14件、小売・サービス業：9件、飲食業：4件、卸売業：1件)	4件	28件	計画どおり継続 目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。 継続的に取り組んでいただきたい。 事業効果の確認やアフターフォローにも気を配るよう意識していただきたい。

知的財産権利化支援	弁理士や群馬県発明協会などの知財関係の専門家と連携し、小規模事業者の特許取得など開発に関する権利化の支援を行った。(製造業：3件、建設業：1件、卸売業：1件、小売業：1件)	4件	6件	<p>計画どおり継続</p> <p>継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>効率良く支援を行えるよう専門家との連携を綿密にし、支援力向上に努めていただきたい。</p>
-----------	--	----	----	--

・ 専門的課題解決支援

取組項目	実施内容・内部意見	30年度目標	30年度実績	外部評価・意見
M&A・事業承継支援	<p>弁護士・司法書士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士などの士業と連携することで、これまで対応が難しかったM&A、事業承継、組織変更など、法務・税務・労務に関わる幅広い専門的課題解決の支援を行った。</p> <p>小規模事業者持続化補助金の申請時にも対象者に事業承継診断を実施している。(小売・サービス業：6件、製造業：5件、繊維工業：5件、建設業：2件、卸売業：1件)</p>	4件	19件	<p>計画どおり継続</p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており評価できる。</p> <p>必要性は高いため、継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>今後も相談が増えると予想される内容なので、関係機関や専門家との連携を強化し、支援力向上に努めていただきたい。</p>

2. 地域の活性化に資する取組み

取組項目	実施内容・内部意見	30年度目標	30年度実績	外部評価・意見
伝統的建造物マッチング物件掲載	ノコギリ屋根工場や古民家等の伝統的建造物の所有者へのヒアリング調査を行い、空き物件情報を紹介し、利用したい事業者・創業者とのマッチングを行う計画だが、対象物件自体も減少傾向にあり、30年度の実績は	5件	0件	<p>簡易な改善(縮小)</p> <p>実績は無かったが、必要性は高いため、業務効率や進め方を改善して取り組んでいただきたい。</p> <p>行政との情報共有にも努め、情報をいち早く入手、提供できるようにし</p>

	無かった。 今後もファッションタウン桐生推進協議会と連携し計画に沿って支援していきたい。			ておく必要がある。
伝統的建造物マッチング成約数	桐生市新規工房開設補助金や桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金の申請支援を行い、古民家や工場、空き店舗等を改修した新店舗や事業所の開設を支援した。	3件	3件	計画どおり継続 継続的に取り組んでいただきたい。 行政の支援施策や専門家相談等も有効に活用し、成約件数を増やせるよう努めていただきたい。
シルクルプロジェクト観光客誘致数	26年度に取り組んだ「桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発事業（シルクルプロジェクト）」から商品化されたツアー等での誘致を計画しているが、30年度はツアー等が実施されず、実績は無かった。	120名	0名	簡易な改善（縮小） 実績は無かったが、継続的に取り組んでいただきたい。 PR活動も積極的に行い、桐生市観光交流課や観光協会、旅行業者、参画企業と一体となって事業を継続できる体制を整えていただきたい。
Room of KIRYUプロジェクト取引成約数	※販路開拓支援のバイヤー等取引斡旋（成約数）のうち、Room of KIRYUプロジェクト関連の実績数。	18件	31件	計画どおり継続 継続的に取り組んでいただきたい。 一部の参加企業に偏ることなく、新規事業所も取り込めるよう支援していただきたい。 商品や企業の効果的なPRをレクチャーできるとなおよい。

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

実施内容・内部意見	外部評価・意見
(1)群馬県内の商工会議所・商工会・金融機関などが参加し開催される各種会議において、他の支援機関の成功事例・支援ノウハウ・支援施策などの情報交換を行った。 (2)桐生市・桐生地域地場産業振興センター・北関東産官学研	計画どおり継続 今後もセミナーや勉強

<p>研究会・キッズバレイ・桐生商工会議所・桐生市新里商工会・桐生市黒保根商工会・桐生信用金庫の市内8機関で構成される「桐生市創業支援ネットワーク」において、創業希望者や創業間もない事業者に関する情報について会議及び電子カルテ共有で情報交換を行い、特定創業支援事業に関する証明書を2件交付した。</p> <p>(3) 桐生市・桐生信用金庫・桐生商工会議所の3者共催による「ビジネスマッチングフェア桐生2018」を開催し、情報発信と新規取引先の開拓を支援した。また、「新現役交流会」を開催し、様々な課題を抱える中小企業事業者と企業OB（新現役）とのマッチングを支援した。</p> <p>(4) 「ビジネスプレス発表会」を開催し、企業の新商品・新サービスをマスコミにPRする場を提供し、企業の広報活動ならびに販路拡大を支援した。</p> <p>(5) 経営指導員及び補助員は、小規模事業者に対して当所議員や専門家を派遣し支援を行う場合、あるいは他の支援機関と連携して支援を行う場合は、特別な事情がある場合を除き原則同席し、支援全体の適切なコーディネートを行うとともに、当所職員自身のOJTとして専門的支援のノウハウ習得に努めた。</p> <p>(6) 「商工会議所応用研修」に全経営指導員が参加し、支援ノウハウ習得に努めた。また、中小機構が中小企業大学校で実施する「中小企業支援担当者等研修（1週間～1ヶ月程度）」に毎年2名程度の経営指導員を参加させ、支援ノウハウ習得に努めた。</p> <p>(7) 「商工会議所基礎研修」に全補助員が参加し、支援ノウハウ習得に努めた。</p> <p>(8) 全会員事業所及び支援先小規模事業者に対してCSアンケートを実施し、経営発達支援事業に関する顧客満足度の定性面の実績評価を行った。</p> <p>(9) 定期的で開催している桐生商工会議所経営支援委員会において、創業間もない事業者や経営上の課題を抱える企業が、解決策や商品開発、販路開拓などの助言を求める機会を提供した。</p>	<p>会等に積極的に参加し、全指導員の支援力向上に努めていただきたい。</p> <p>また、効率良く支援を行えるよう行政や関係機関、専門家との連携を強化し、情報を共有していただきたい。</p>
--	--

7 全体的な総括

桐生商工会議所の「経営発達支援事業」については、各事業の目標値に対する実績に若干差異が見受けられるものの、補助金申請支援等の主要な事業では目標値を達成しており、全体的には計画に沿った支援事業が行えていると判断できる。

特に、支援事業実施4年度目となる平成30年度は、これまでに構築した支援体制や蓄積したノウハウをフル活用していく段階となり、経営発達支援計画の基幹となる経営課題の根本的解決をサポートするための経営分析や経営計画策定支援を積極的に実践した。

経営指導員8名が対応した30年度の相談件数は、巡回訪問件数が1,973件、電話を含む窓口対応件数が1,816件であり、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を実践した結果であると言える。

具体的には、各種補助金申請等における経営計画策定支援実績は、小規模事業者持続化

補助金（５２件）、サービス等生産性向上ＩＴ導入補助金（１１件）、経営力向上計画（７件）、先端設備等導入計画（２４件）、地域経済牽引事業計画（１件）、経営改善計画（１件）となっている。また、桐生市の創業促進を目的とした桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金（３件）、桐生市新規工房開設補助金（２件）の申請支援にも取り組んだ。総数（１０１件）を見ると、目標値を大きく上回る実績を上げており、特に、毎年度ニーズが多い小規模事業者持続化補助金や税制支援や金融支援措置が活用できる先端設備等導入計画の策定支援に積極的に取り組んでおり、支援体制の充実と支援ツールの整備により、迅速かつ効率的に取り組んだ成果であると言える。

専門家派遣支援では、企業支援ポータルサイト「ミラサポ」を活用した派遣が５４企業（１２６回）、群馬県よろず支援拠点の「よろず出張相談会」での専門相談が４５企業（６６回）となっており、各支援機関や専門家と連携した小規模事業者支援にも継続的に取り組んでいる。これに加え、定期的開催している桐生商工会議所経営支援委員会において、創業間もない事業者や経営上の問題を抱える企業が、解決策や商品開発、販路開拓などの助言を求める機会を提供することで、各企業の経営者である商工会議所議員も一体となって支援を行っている。

さらに、事業者の新商品や新サービスをＰＲするための「ビジネスプレス発表会」や「プレスリリースセミナー」を開催し、広報活動と販路拡大を支援するとともに、各種メディアで話題性のある情報を発信してもらうことで、地域経済の活性化を図った。

また、日本最大級のハンドメイドマーケットプレイス「Creema（クリーム）」のクラフトキャラバンの誘致をはじめとする展示会等への出展支援も積極的に行った。

最後に、本評価が今後の支援事業の実施に際し、適切に反映されるよう要望し平成３０年度の外部評価とする。

以上

平成３０年度 桐生商工会議所
「経営発達支援事業」評価報告書

令和元年５月

作成：桐生商工会議所経営発達支援事業外部評価委員

編集・発行：桐生商工会議所

〒376-0023 群馬県桐生市錦町 3-1-25

電話 0277-45-1201

FAX 0277-45-1206